

えこっち・やす 環境基本計画推進会議「水と緑・安心の野洲」

ニュースレター 第35号

令和2年1月発行
えこっち・やす事務局
(野洲市役所 環境課内)

寒さが厳しい日が続いておりますが、みなさまいかがお過ごしでしょうか。
さて、“えこっち・やす”ではさまざまな環境活動に対して継続して取り組んでいます。本紙では今年度の晩夏から冬にかけての主な事業やイベントをご紹介します。

まちなかの緑づくりプロジェクト 自然の森ふれあいイベント

11月16日(日) 参加者 30名



秋空の下、野洲川北流域跡自然の森でふれあいイベントを実施しました。マムシグサ、タラヨウ、スズメウリなど観察したり、ゴマギ、ニッケイ、サンショウなど匂いのする葉っぱを嗅いでみたり、ウバユリの種を飛ばしたり、どんぐりを拾ったりしながら、森を探索しました。

ネイチャーゲームでは、ビンゴカードで自然の生き物や植物など探索し、草の中にわからないようカモフラージュし隠したいろいろなものを探し出すゲームなど、日頃と少し違った観点で自然観察、自然体験を楽しみました。

お楽しみのタケメシは、“子供がびっくりするほど沢山食べていた”など、おいしいと大変好評でした。

また石焼き芋もおいしくできあがり、子供たちはマシユマロ焼きも堪能しました。

ごみの資源化プロジェクト

リユース無償譲渡会

11月10日(日) 参加者 30名

野洲クリーンセンター展示スペースおよび2階スペースでリユース無償譲渡会を開催しました。開始時間の1時間前から待っておられる方もいらっしゃいました。タンスやテーブルなどの家具類22点、食器・バックなどの小物184点、合わせて206点を譲渡しました。



エコキャンドルづくり講座



12月14日(土) 参加者 20名

市内在住の小学生と保護者を対象に、コミセンひょうずで参加者募集型講座エコキャンドルづくりを実施しました。キャンドルを作って終わるのではなく、廃食油の利用やリサイクルについても説明し、環境への関心を高めていただけるよう実施しました。クリスマスにぴったりの素敵なキャンドルを作っていただくことができました。

ごみ減量プロジェクト

環境にやさしい買い物キャンペーン

10月28日(月)、30日(水) 13名

平和堂アルプラザ野洲店、丸善野洲店の市内スーパー2店舗にて、市とともに環境にやさしい買い物キャンペーンとして、買い物バック持参の呼びかけを行いながら、PR用に作成したポケットティッシュやグリーン購入+エシカル、フードエコの小冊子の配布を行いました。



地球温暖化対策推進プロジェクト

エコドライブ教習会



11月15日(金) 参加者 6名

野洲自動車教習所にご協力いただき、エコドライブ教習会を実施しました。

市民のほか、野洲市の環境保全協定締結事業所から、奥村興業さん、近江OFTさん、SCREENホールディングス野洲事業所さんからの参加者があり、エコドライブの座学講習を受ける前後で教習車を運転し燃費測定を行いました。その結果、全ての参加者において燃費の改善が見られ、平均で18%、最大で37%の燃費向上がみられました。また、教習所の先生を交えたグループトークではエコドライブについての情報交換や講習の効果について話し合い、さらなる理解を深めていただきました。

みんなが親しむきれいな川づくりプロジェクト

ビワマス産卵床造成および魚道設置

9月27日(金)、10月5日(土) 産卵床造

10月16日(水) 魚道設置



今年の改良箇所



ビワマスが産卵するのに適した環境を整備するため、9月27日と10月5日の2日、産卵床を造成しました。

また、関東地方を中心に大きな被害を与えた台風19号が通過後の10月16日にはビワマス遡上用の仮設魚道の中ノ池川落差工設置しました。

昨年は1匹のビワマスが魚道を遡上したものの、魚道最上段から上流部までに距離があることで苦戦しているようでした。

これを受け、今年は仮設魚道の最上部にもう1段堰を取り付け、上流部までの距離を縮め上りやすい構造に改良しました。

産卵床ではトータル10匹ほどのビワマスが産卵準備をする光景が見られました。

また、来年も課題に取り組んでいきます。

里山を守り育てるプロジェクト

秋の山城探索登山



11月23日(土) 参加者 25名

秋の柔らかな日差しと紅葉につまれながら、秋の小堤山城を訪ねる登山を実施しました。古城跡の桜本坊の池や遺跡、見事な石垣を見ながら山を登り、主郭跡で講師の説明を聞きました。参加者から「野洲にこんなにきれいな景色や歴史遺跡があるとは知らなかった、来てよかった!」「講師の説明がわかりやすかった」との声が寄せられました。

森づくり塾

11月30日(土) 参加者 25名

里山の材料でつる籠・リースづくりを実施しました。つる採り、リースの飾りの木の実など準備が大変でしたが、今年度は山部会のメンバーが参加者に作り方をしっかり伝えられるよう事前に指導練習した成果があり、良い作品作りができました。



びわ湖を守ろうプロジェクト

あやめ浜まつり



8月19日(月) 参加者 156名

残暑ではありましたが、うす曇りで比較的過ごしやすい天候のなか、2回に分けて行われたシジミ採りの合間には浜の漂着ごみの清掃をシジミ採りと同様一生懸命に取り組みました。

昼食時には、滋賀県水上安全協会、守山警察署による水辺の活動における注意啓発と水資源機構による琵琶湖の環境学習を行いながら、湖魚弁当、シジミ汁を食し、食材をはじめ琵琶湖の貴重な体験学習となりました。昼食後には恒例となったスイカ割が行われ、子ども達が歓声を上げながらスイカ割を楽しんでいました。

ヨシ植えイベント

11月11日(土) 参加者 260名

琵琶湖岸にかつて広く群生していたヨシを取り戻すためのイベントを開催しました。ヨシは琵琶湖の水環境と生物にとって大切な植物です。

ヨシの植栽や松林の下草刈りを行ったあとヨシ笛の音色を聞きながらおにぎりとしじみ汁をいただきました。この日以外にも11月4日(月祝)に滋賀ダイハツ販売(株)が、11月29日(金)には中主小学校4年生がヨシ植えを行いました。



